

自然界の旬



⑳ 右巻きと左巻き

自然界の不思議を探そう
ネジバナは気まぐれもの?!

今、民家のあちこちにひときわ自立つ派手な花「ノウゼンカズラ」が咲いています。この季節は、どの植物も遅れてなるものと先を競って背伸びをしています。そんななか、他の植物や建造物に寄りかかって生存権を主張しているものがあります。この植物の多くは、他のものにか



左巻き



右巻き

吸盤で貼りついたりして伸びています。ノダフジは右巻き、ヤマフジは左巻きという話はよく聞きますが、他のつる性植物はどうなっているかと思いませんか。右巻きか、左巻きかの判断は時計回りに巻きながら上っている(前進している)ものを右巻き、反時計回りに上っている(前進していない)ものを左巻きとしています。まず、最も身近なつる性植物ヘクソカズラは右巻きです。その隣にくっついていたり互いにかまったりしているスイカズラも右巻きです。身近な植物をほとんど観察してみますと、ヤマノイモ、クズ、アオツツラフジ、アケビ、ミツバアケビ、ヤマフジ、ノアズキ、サルナシなどはみんな左巻きです。たまにはへそ曲がりかいるかと思ってしまうくらい観察してみました。きちんと左右を守っていました。不思議です。

ところが面白いものを見つけた。「ネジバナ」の螺旋状の花が気まぐれをやっていました。右巻きの螺旋と左巻きの螺旋、トカゲの背びれのような直線に咲いているものがあるのです。それが一番多いかといえば、右巻きが一番多いように思います。

イワガラミ、ツルアジサイ、ツタウルシは気根を出して樹木や岩に這い上がっています。サルトリイバラ、シオデは巻きひげを出して他の植物に這い上がっています。自然界の不思議をまたひとつ発見したような気がします。(NPO法人七塚原自然体験活動研究センター 理事長 西村 清巳)



右・左巻き



左巻き



右巻き

アケビ(上)、スイカズラ(中)、ネジバナ(下左)、ヤマフジ(下中)、ヘクソカズラ(下右)

意外な野外のガイダンス
~海の生きもの編~



キブリス幼生(右)、ノープリウス幼生(左)

③ フジツボ

海岸に行くとき必ず目につく生きものにフジツボがいます。磯や護岸によく見かけるフジツボは、シロスジフジツボとイワフジツボです。体は、石灰質の固い殻に覆われており、貝のなかまのように見られが

エビやカニの幼生によく似ていて、ノープリウス幼生と呼ばれます。植物プランクトンを食べて成長したノープリウス幼生は、キブリス幼生と呼ばれる形に変わり、次いで岩などに固着し、皆さんがよく

(あし)を広げてプランクトンをろ過します。その動きはまるで、おいで、おいで、をしているようです。また、交尾の時は、オスが鞭のように伸びる生殖器を近くのメスまで伸ばします。その

東北地方では昔から食用

ちですが、エビやカニのなかま(甲殻類)です。その証拠は、フジツボの成長する過程をみると分かります。卵は海中に放出され、漂いながら孵化(ふか)を迎えます。卵から出てきた幼生は、

見かけるフジツボの形になります。岩などに固着したフジツボは、カニのように動き回ることとはありません。餌を食べる時は、蔓脚(まんきやく)という投網のような形をした脚

長さは、自分の体の八倍にもなります。また、大型のフジツボは食用にされることもあり、塩ゆでにされたフジツボはカニのような味がします。東北地方では昔から食用にされて



シロスジフジツボ【大型】(左)、イワフジツボ【小型】(右)

みんなの助っ人!
環境カウンセラー

【登録年数】平成23年度・市民部門
【専門分野】環境教育、自然観察(植物、鳥、水生生物、昆虫、星空等)、森林保護以外の自然保護、その他(ピオトープ関連)
【活動エリア】広島県内全域

◆これまでの活動について
いについて語ってもらった。◆これから住民と一緒に取り組

生物多様性をテーマに活動
ピオトープで環境学習

仕事は、総合建設業で、地球・長持ち創造企業(建造物の長寿命化、高環境化に対応した企業)の事業推進を担当し、ビルの省エネや長寿命という直接的な環境負荷対策を行ったり、前述のピオトープ(エコラボ)で地域交流活動として環境教育を行って

知識を生かす機会を与えてくれています。このピオトープ創造やモニタリング、基礎研究や商品開発で培った個人のノウハウを、環境教育や商品の営業展開に活かしたいと思い、カウンセラーになりました。◆これから住民と一緒に取り組

環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局【環保協】(082-293-1152)担当(住田)まで

環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局【環保協】(082-293-1152)担当(住田)まで

環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局【環保協】(082-293-1152)担当(住田)まで



地域で環境学習に取り組む清田さん

◆組み合わせたいこと
誰もがでる生物多様性保全の第一歩は、身近な生きものを知ることです。身近にピオトープがたくさんあり、子どもや博士・植物博士がたたくさんいるような町ができればと夢見ています。「触れたい」を知ることが、生きものを好きになり、その生きものを守るためにその生き物を守るという行動につながる種をまいていきたいと思ひます。
◆組み合わせたいこと
環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局【環保協】(082-293-1152)担当(住田)まで

アスベスト分析(当会では6種類の分析が可能になりました)
「健康被害拡大で無警戒の石綿を対象とした法律の見直し」

平成20年2月に厚生労働省からアスベスト6種類分析の徹底に関する通達が出されました。これにより、アスベスト分析においては、従来の3種類{アモサイト、クリソタイル、クロシドライト}に新たに3種類{アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト}を加えた6種類の分析が必要になります。

※ご要望により試料採取の対応を行います。詳細は、お気軽にお問い合わせください。

